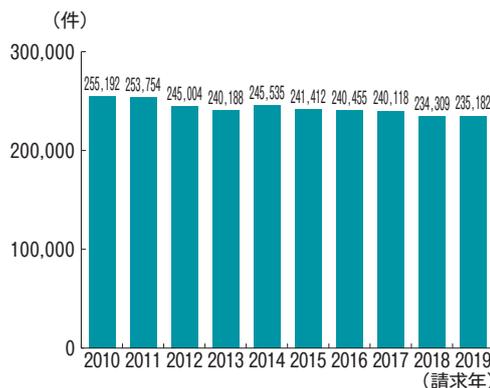


②審査請求件数

審査請求件数は2010年以降横ばいで推移しており、2019年は235,182件であった[1-1-3図]。

1-1-3 図 【審査請求件数の推移】



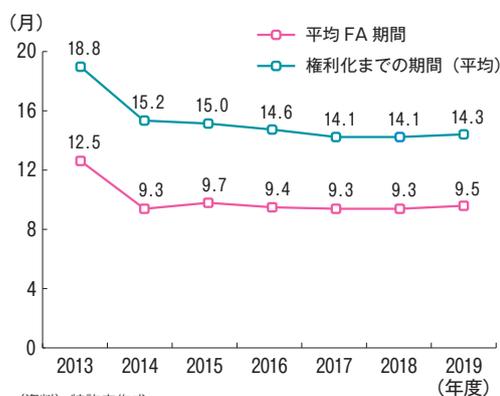
(備考) 2010～2012年の審査請求件数には審査請求料の納付繰延制度を利用しているものが含まれる。

(資料) 統計・資料編 第1章1.

③審査の迅速化

特許庁は、一次審査通知までの期間に加え、権利化までの期間の短縮を求めるニーズの高まりを受け、2014年に10年目標として、2023年度までに特許の「権利化までの期間¹」（標準審査期間）と「一次審査通知までの期間」をそれぞれ、平均14か月以内、平均10か月以内とするという目標を設定し、着実に取り組んでいる。2019年度は、それぞれ、14.3か月、9.5か月を達成した[1-1-4図]。

1-1-4 図 【特許審査の権利化までの期間と平均FA期間】



(資料) 特許庁作成

④特許審査実績

2019年の一次審査件数は227,293件となった。また、特許査定件数は167,945件、拒絶査定件数は54,779件、特許登録件数は179,910件となった。

また、日本国特許庁が2019年に国際調査機関として作成した国際調査報告の件数は、過去最多の、51,666件となった[1-1-5図]。

1-1-5 図 【特許審査実績及び最終処分実績の推移】

特許審査実績の推移

実績	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
一次審査件数	255,001	235,809	246,879	239,236	232,701	227,293
再着審査件数	283,085	237,076	242,904	265,944	248,647	221,288
国際調査報告作成件数	40,079	43,571	44,321	45,948	47,934	51,666
国際予備審査報告作成件数	2,190	2,515	2,021	1,903	2,131	2,000
前置審査件数	22,972	20,405	18,108	17,248	15,247	15,266
合計	603,327	539,376	554,233	570,279	546,660	517,513

(備考) 前置審査件数は、前置登録件数²、前置報告件数³、前置拒絶理由件数の合計。

最終処分実績の推移

実績	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
特許査定件数	205,711	173,015	191,032	183,919	177,852	167,945
拒絶査定件数	88,467	66,599	58,638	60,613	56,701	54,779
(うち戻し拒絶査定件数)	41,477	30,173	25,448	28,409	26,693	25,494
FA後取下げ・放棄件数	2,562	2,290	2,207	1,968	1,726	1,651
特許登録件数	227,142	189,358	203,087	199,577	194,525	179,910
特許査定率	69.3%	71.5%	75.8%	74.6%	75.3%	74.9%
拒絶査定率	30.7%	28.5%	24.2%	25.4%	24.7%	25.1%

(備考) 戻し拒絶査定件数とは、審査官の拒絶理由通知に対し、何ら応答されず拒絶査定された件数。

FA後取下げ・放棄件数とは、一次審査着手後に出願の取下げ・放棄が行われた件数。

特許査定率=特許査定件数/(特許査定件数+拒絶査定件数+FA後取下げ・放棄件数)

拒絶査定率=(拒絶査定件数+FA後取下げ・放棄件数)/(特許査定件数+拒絶査定件数+FA後取下げ・放棄件数)

(資料) 特許庁作成

1 出願人が補正等を行うことに起因して特許庁から再度の応答等を出願人に求めるような場合や、特許庁に応答期間の延長や早期の審査を求める場合等の、出願人に認められている手続を利用した場合を除く。

2 前置審査の結果、拒絶査定を取り消して特許査定された件数。

3 前置審査の結果、拒絶査定を維持すべきと判断された件数。